

地域国際化推進アドバイザーの派遣

自治体及び地域国際化協会等が地域の多文化共生や国際協力を推進するために実施する研修会や講演会に地域国際化推進アドバイザーを派遣しています。令和6年度は128件、アドバイザーを派遣しました。そのうちオンライン派遣は8件でした。

【派遣事例1】

- ・テーマ：外国人とともに地域の防災を考える（令和6年8月）
- ・派遣アドバイザー：菊池 哲佳 氏（（一社）多文化社会専門職機構／理事・事務局長）
- ・派遣先：滝川国際交流協会（現地派遣）

① 目的

地域防災を考える講座を開催し、防災に対する知識を踏まえた災害時への備えを高めることを目的とする。

② 内容

- ・多文化防災クイズ
- ・多文化防災ワークショップ

③ 成果

参加者全員が考え方や意見を出し合うことによって、お互いの気づきにつながり、防災に対する知識や備えへの認知が高まった。市役所の防災危機対策の担当者の参加もあり、防災時の外国人支援の在り方などについて、良い学びになったとの感想があがった。

【派遣事例2】

- ・テーマ：職員向けやさしい日本語（令和6年9月）
- ・派遣アドバイザー：吉川 友香 氏（（公財）大阪府国際交流財団／企画推進課長補佐）
- ・派遣先：草津市（現地派遣）

① 目的

日頃外国人来庁者に対応する機会のある市職員にもコミュニケーションツールのひとつとして活用を促すために、職員向けの研修会を行う。

② 内容

- ・やさしい日本語の基本講座
- ・ワークショップ

③ 成果

44名が参加をした。講義はワークショップも交えたもので、市職員にとってイメージしやすく、また実践につなげられる内容であった。

【派遣事例3】

- ・テーマ：多文化共生施策に関するアドバイス（令和7年2月）
- ・派遣アドバイザー：柴垣 禎 氏（（特活）多文化共生マネージャー全国協議会／理事）
- ・派遣先：滑川市（現地派遣）

① 目的

多文化共生に係る基盤作りに資するため、施策を進める上で必要な取り組みや体制づくり、関係機関との連携等について検討する。

② 内容

次年度実施予定としている多文化共生関連ワークショップの内容を中心に、施策を進める上で必要な取り組みや体制づくり、関係機関との連携等に関してアドバイスをもらった。

③ 成果

次年度に取り組む事業について、そのイメージが具体的に掴めたことや関係機関へのアプローチについても道筋が見えたので、大変参考になった。多文化共生に係る情報や他市町村の動きも知ることができたため、現在検討している内容について、より具体的に詳細を設定・反映していく。

【派遣事例4】

- ・テーマ：多文化共生「これからの山形」～外国人とつくる地域づくり～（令和7年2月）
- ・派遣アドバイザー：堀 永乃 氏（（一社）グローバル人財サポート浜松／代表理事）
- ・派遣先：（公財）山形県国際交流協会（オンライン派遣）

① 目的

技能実習生と特定技能外国人の急増を踏まえ、技能実習生と特定技能外国人を対象とした生活と防災における実態調査の結果をシンポジウムで共有するとともに、他の地域の事例を参照しながら、市や地方における多文化共生について議論する。

② 内容

多文化共生等に関する施策を推進し、多文化共生等にかかる住民理解を促進するための講義

③ 成果

参加者からは、外国人の方が住みたい町を作れる住民でありたい、外国人と地域住民が交流できる場を何らかの形で作っていききたいなど、前向きなご意見をたくさん頂戴し、住民理解の促進に大いに役立つセミナーだった。

<令和6年度 地域国際化推進アドバイザー派遣（件数）>

業務区分 派遣先	多文化共生			その他	合計
	やさしい日本語	災害時の 外国人支援	小計		
都道府県	0	6	6	5(2)	11(2)
市区町村	36	18(1)	54(1)	18	72(1)
地域国際化協会	2(1)	8(1)	10(2)	11(3)	21(5)
市町村国際交流協会	7	13	20	4	24
合計	45(1)	45(2)	90(3)	38(5)	128(8)

※「その他」は通訳・翻訳、ボランティア育成など。また、（ ）はオンライン派遣実績で内数。